

「立志式に携わる中学生との語る会」

日時：3月8日（日） 午前10時から（会場：区役所1001会議室）

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>この宣言を書くにあたって、私は「自分はどんな人間でありたいか」ということを改めて考えました。</p> <p>今はまだ将来なりたい職業が明確に決まっていますが、やはりどんな道に進んでも、周りの役に立てる人間でありたいと思うようになりました。そのためには、今できることを真剣に取り組み、将来のため努力を積み重ねていきたいです。</p> <p>この宣言を胸に、将来いろいろな道を歩んでいきます。</p>	<p>「今できることを真剣に取り組み、将来のため努力を積み重ねていきたい」とのことで、これからに対する強い思いと成長への意欲が伝わってきて、とても素晴らしく感じました。</p> <p>将来の職業がまだ決まっていないとのことですが、「どの道を選んでも周りの役に立ちたい」という思いは、今後様々なことを学ぶ上で原動力となり、大きな意味を持つと思います。私も区長として「区民の皆さんの役に立ちたい」という思いが、日々業務に取り組む原動力となっています。</p> <p>いろいろなことに興味を深め経験を積むことで、将来なりたい職業が明確になってくるはずです。これからも将来のために、努力を積み重ねていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は将来たくさんのやりたい職業があるので、将来の生き方やどのように充実させるかを考えました。</p> <p>去年の夏、1か月のアメリカでのホームステイを経験して、価値観の違いを理解することの大切さを知りました。</p> <p>今の生活の積み重ねが将来の生活に関わるのだと感じたため、日常生活で大切な挨拶などを意識していきたいです。</p>	<p>アメリカでのホームステイの経験が、文化や価値観の違いを理解する大切さを教えてくれたようですね。文化や価値観の違いを知ることで、自分にとっての“当たり前”が変わり、新しい発見や自身の成長につながると思います。</p> <p>また、国籍などの異なる人々が互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係で地域の一員として共に生きていくことを「多文化共生」と言います。台東区でも多文化共生の地域社会の実現に向けて取り組んでいるので、ぜひ台東区に住む地域の一員として、これからも様々な文化に触れて理解を深めていただけたらと思います。</p> <p>そして、「日常生活で大切な挨拶を意識する」とのことで、その姿勢は周囲との信頼関係を築く上で大切になります。今の生活の積み重ねが、将来の生活にも生きてくると思うので、ぜひ挨拶を大切にさせていただき、これからの中学校生活も頑張らせていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、立志式で「裁判官を目指す」と発表しました。その理由は、祖父の影響で法律に興味を持っていたことと、中学1年生の夏に長崎へ行き、平和について学んだことがきっかけです。</p> <p>もし裁判官になれたら、法律をもとに様々な判断をしていくこととなります。この仕事を積み重ねることによって、争いを防ぎ、社会の秩序を保ち、平和な世の中をつなぐと考えました。これは長崎で学んだ平和の大切さにもつながります。</p> <p>また、立志の宣言を書いて、自分の夢を実現するために、最後まで諦めずにやり続ける忍耐力が必要だとわかりました。</p> <p>今から努力を惜しまず頑張ろうと思います。</p>	<p>裁判官は公平中立な立場で法律をもとに、争いや犯罪の最終的な判断を下す、とても責任のある大切な職業です。その裁判官に、「平和な世の中を作るためになりたい」という思いを伺い、とても立派に感じました。</p> <p>そして、その実現のためには「最後まで諦めずにやり続ける忍耐力が必要」とのことで、大きな目標を達成するためにとっても大切なことであると私も思います。そのためにも、まずは毎日少しずつ勉強を続けることや、小さな目標を立て、成功体験を増やしていくことも重要であると思います。また、時には上手くいかないことや、苦手なことに挑戦することもあると思いますが、それを乗り越えれば自分の成長につながり、自分の目標にも一歩近づきます。</p> <p>そのような気持ちを忘れずに、これからも「裁判官になる」という夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回、立志の作文を作成するにあたり、過去の自分と今の自分を照らし合わせることにしました。そうすることにより、自分自身と向き合う時間が増え、本当の私の気持ちを言語化することができました。</p> <p>また、曖昧で先が見えていなかった将来の目標も、立志式という大きな場面を借りて、しっかりと宣言することができました。</p> <p>これらの経験は将来、何があっても心の支えになってくれるものだと感じているため、大切にしていきたいと思っています。</p>	<p>今回の立志の作文をきっかけに、「過去の自分と今の自分を照らし合わせた」とのことで、ご自身と向き合う時間ができて大変良かったと思います。</p> <p>将来の目標は「消防士」とのことで、人の命を守る仕事であるため、その社会的な貢献度はとても高く、誇り高いお仕事であると思います。しかし同時に、とても重い装備を身にまとい、炎天下や災害現場の危険な環境で活動することも多く、肉体的にも精神的にもとても大変な職業だと思います。</p> <p>そのような消防士になることを目標とされていることは、人のために働くことができ、そしてとても使命感がある方だと思います。ぜひ今回の立志の宣言を胸に、これからも目標に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の宣言を書く中で1番強く感じたことは、将来の目標を考えることの大切さです。これまでの私は、何となく将来を考えていましたが、作文を書くことで自分がどんな人になりたいのかを改めて見つめ直すことができました。</p> <p>私は将来、人に安心してもらえる、優しく頼られる美容師になりたいと考えています。そのために、今の自分に足りないことや、これから努力しなければならないことに気づくことができました。</p> <p>立志は将来の夢を決めることだけでなく、自分を変えるためのきっかけだと思います。この経験を大切にしていきたいです。</p>	<p>今回立志の作文を書いたことが、ご自身の将来についてしっかり考える機会となったようでとても良かったと思います。</p> <p>そして、将来はただ美容師になりたいのではなく、「人に安心してもらえる、優しく頼られる美容師になりたい」とのことで、とても素敵な目標だと感じました。また、なりたい職業のために自分に足りないところや、努力すべきところまで、よく自分のことを考えられているところが素晴らしいと思いました。</p> <p>美容師になるためには、国家資格をとる必要があります。そのために、いろいろな勉強や練習もしていかなければならないと思いますが、これからもぜひ目標に向かって努力を積み重ねていってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書く中で、自分がどれだけ周りの人に支えられてきたのかを改めて実感しました。</p> <p>学校生活の中で自分の役割について考えることが増え、不安を感じたり、1人で抱え込んでしまったりしたことがありました。</p> <p>しかし、先生や友達、家族が声をかけてくれたことで、前向きに取り組むことができている。この経験から、努力することだけでなく、人に頼ることや感動することも成長には欠かせないと思うようになりました。</p> <p>立志式を一つの節目として、これからは目の前のことに真剣に向き合い、挑戦を続けながら、支えてくれる人への感謝を忘れずに成長していきたいです。</p>	<p>今回の立志の宣言を通じて、周りの人たちへの感謝を実感したとのことで、とても良い発表していただき、ありがとうございます。</p> <p>また、「人に頼ることも成長に欠かせない」と発表していただきましたが、とても大事なことだと私も感じました。</p> <p>「人に頼る」というのは、実はとても難しいことであり、これは大人でも簡単にできないことです。1人で抱え込んで誰にも言えず、苦しんでいる人たちも多いのではないのでしょうか。そのようなときは、皆さんも先生やお友達、ご家族など、周りの人をぜひ頼って話をしてみてください。努力も大事ですが、時には人に頼ることも大切なことです。</p> <p>そして、そのような人たちへの感謝を忘れない点も素晴らしいと思います。努力を続けながらも、時には人を頼り、そして感謝をして、これからも成長していただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書くにあたり、私は将来どんな大人になりたいかを考えました。</p> <p>過去のことを思い返すときに強く印象に残っていた出来事は、バドミントンの試合と習い事です。これらの出来事を通して、将来礼儀正しく、どんなことでも逃げずに向き合う大人になりたいと思いました。</p> <p>普段から周りの人を大切にし、いろいろなことに挑戦していきたいと考えました。</p>	<p>スポーツや習い事を通じて、技術や知識を身につけるだけでなく、礼儀正しきや「何事も逃げずに向き合う」ことについても学んだとのことで、とても素晴らしく感じました。</p> <p>礼儀を意識することで、相手も自分に対して好意的な感情を抱きやすくなり、良好な関係を築くことができます。また、何事も逃げずに向き合うことで、たとえ上手くいかなくても、「次はこうしてみよう」と考えて取り組むことで、また一つ自分の成長につながると思います。</p> <p>ぜひこれから先も、様々な人と良好な関係を築いていただき、また失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、「人生100年時代」を生きるのなら、学びと成長を続けられる人になりたいと思い、立志の宣言をしました。</p> <p>宣言を考える中で、学校の勉強だけでなく、日常の気づきや体験も学びの一つだと気づきました。特に保育園での職場体験では、挨拶や時間を守る大切さを実感し、学んだことの積み重ねが自分を支える力になると感じました。</p> <p>これからも学びを積み重ね、挑戦し続けて、人生の最後には笑顔あふれるおばあちゃんになりたいです。</p>	<p>私も日常に多くの「学び」があると感じていますが、そのことを理解されており、とても立派に感じました。</p> <p>また、保育園での職場体験では「挨拶や時間を守る大切さを実感した」とのことで、これまで学んできた挨拶や時間の大切さを、職場体験の場でもしっかりと実践することができ、とても素晴らしく思います。</p> <p>ぜひ学んだことは、誰かに教えてあげたり、誰かのために活用したりしてあげてください。そうすることにより、自分にとっても新たな気づきがあり、自身の成長につながると思います。</p> <p>今回の宣言や職場体験での経験を忘れず、学びを積み重ねていただき、“笑顔あふれるおばあちゃん”になっていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は作文で書いたような、人に頼ってもらえる、人の気持ちを考えられる人になりたいと思っています。</p> <p>きっかけは、小学校にあった相談室の先生です。先生が悩みをたくさん聞いてくれたことで、自分をもう一度見つめ直すことができました。</p> <p>私は、小学校のときのつらい思いを後悔していません。このつらい思い出のおかげで、自分の第一歩になったことや、誰かの役に立ちたいという思いが生まれたからです。</p> <p>立志でつづった言葉の一つ一つを忘れずに、これからを歩んでいきたいです。</p>	<p>「人に頼ってもらえる、人の気持ちを考えられる人になりたい」という気持ちは、これから大人になってもとても大切なことだと思います。</p> <p>小学校のときにつらい思いをしたとのことです。その経験をきっかけに自分を見つめ直し、さらに自分の第一歩として力に変えられており、とても強い方だと感じました。</p> <p>つらかったことや失敗してしまったことなどがあると、そのときは落ち込んだり、悲しい気持ちになったりするかもしれませんが、その経験は決して無駄になるものではありません。相談室の先生がそうだったように、これからは誰かにとって頼ってもらえるような存在になっていただけたらと思います。</p> <p>立志の宣言で書いたことを忘れず、これからも力強く歩んでいけるよう応援しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕はこの文を書くにあたって、「どうやって夢や目標を決めるか」という考えを持ち、そのために、すぐにではなくとも、学校などで得た経験を糧に、少しずつ将来への目標を決めていきたいと思いました。</p> <p>そして、「努力をした経験を積む」ということが、将来自分がなりたい大人になるための第一歩だと思いました。</p> <p>このことを成長しても忘れず、「自分がすることが将来をどう変えるのか」ということを意識して、日々を過ごしたいです。</p>	<p>将来の夢や目標がまだ決まっていない人も多いと思います。それでも自分の経験などを活かし、夢や目標を少しずつ形にしていこうとする姿勢は、とても前向きで素晴らしく感じました。</p> <p>また、将来の自分を作るのは、今の行動の積み重ねだと思います。日々のちょっとした選択や習慣が、長い目で見ると大きな差になることもあり、「今どう行動すれば将来の自分のためになるか」を意識して、意図的に行動することが、今後の人生につながってくると思います。</p> <p>今はまだ具体的な夢や目標がなくても、しっかり将来のことについて考えることができていると思います。ぜひ自信をもって、これからもその意識を忘れずに頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の作文を書くにあたって、「自分自身」と向き合う難しさをとても感じました。自分の内側にある熱意や不安を他人に伝わるように言語化することは、想像以上に難しかったです。ただ、作文を書き進めるうちに、「あのときの実体験が今の価値観を作っている」という自分でも気付かなかった一面に出会うことができました。</p> <p>私の宣言は、誰もが意見を躊躇なく発言できる、主体性のある環境を作ることです。発言を躊躇してしまうのは、「自分の意見を否定されて恥をかくから」だと私は考えました。そこで、否定をされなければ、人々は堂々と発言できると私は思い、この環境の実現を宣言しました。</p> <p>自分の取組みで社会の発展に大きく貢献するのが、最終的な目標です。</p>	<p>日々の生活の中で、改めて自分自身と向き合う機会は、なかなかないですね。そして、自分の気持ちを言語化して人に伝えることは、大人になっても難しいことだと思います。</p> <p>「誰もが意見を躊躇なく発言できる環境」は、非常に大事なことです。みんなそれぞれ意見や考えが違うのは当然ですが、仮に自分と違う意見の人がいたとしても、ただ否定をするだけでは何も生まれません。例えば、「なぜそう思ったのか」を聞いてみたら、実は自分も共感することがあるかもしれません。いろいろな視点で様々な意見に触れられることは、自分にとっても新たな気づきになり、とてもありがたいことです。</p> <p>これから先、いろいろな人と関わっていく中で、時には相手と意見が異なることもあると思いますが、今回のことを忘れず、将来社会の発展に貢献されることを期待しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の宣言を書くときに決めたことは、「自分の思ったこと、考えたことを正直に書く」ということです。</p> <p>今現在、将来の夢が特にない私が考えること、それをリアルに率直に書くことで、等身大の中学生の内容になったと感じています。</p> <p>私の宣言のテーマは「努力」ですが、現在している努力は、未来の自分を形作る大切なものだと考えています。</p> <p>将来、「今まで頑張ってきて良かった」と思えるように、目前に迫る受験も、その先の人生も努力を怠らずに、取り組んでいきたいです。</p>	<p>今回立志の宣言を書くにあたり、自分の思いや考えを素直に書いたとのことで、今の自分をまっすぐ見つめる良い機会になったのではないかと思います。</p> <p>今特に努力していることは「勉強」で、まだ将来の夢が決まっていけないようですが、現在取り組んでいる努力は、未来の自分を形作るためにとっても大切なことです。そして、日々の勉強の積み重ねは、単に知識を習得するだけではなく、忍耐力や計画性といった力も育てることが出来ます。</p> <p>日々の努力は、将来いろいろな形で実を結び、必ず自分のためになるものだと思います。少しずつでも努力を積み重ねていくことが、必ず将来の夢につながると思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書く中で、私が音楽を好きになれたきっかけや、支えてくださった先生の存在を改めて思い出しました。</p> <p>つらいときにそっと手を着し伸べて、音楽の楽しさや素晴らしさをまっすぐに教えてくださった先生の姿が、今の私の目標です。</p> <p>この宣言は、そんな先生のような「音楽の先生になりたい」という自分の決意を言葉にしたものだと感じています。</p> <p>宣言した思いを忘れずに、夢に近づくための努力を重ねていきたいです。</p>	<p>音楽の先生がとても大きな存在なのだと感じられる発表でした。そして、その先生のようになりたいという夢を、私も応援したくなりました。</p> <p>今でもとても尊敬する先生であるとのことで、素敵な先生に出会い、教わることで良かったと思います。つらいときに手を差し伸べてくれた先生のように、ぜひ困っている生徒たちに寄り添い、良い影響を与える先生になっていただけたらと思います。</p> <p>今回立志の作文で書いたことを忘れずに、これからも目標に向かって、引き続き頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言に、職業体験での経験を生かして「誰かのためになるような人になりたい」ということを書きました。</p> <p>職業体験は、障がい者支援施設でお世話になりました。私は職業体験に行く前、障がいをもった方に「怖い」という印象を強く抱いており、上手く話せるかとても心配でした。しかし、そんな印象とは裏腹に、積極的にお話しをしてくださる利用者さんが多く、安心してコミュニケーションをとることができました。</p> <p>今の日本は、障がいをもった方にとって過ごしやすい環境とはい言えません。「少しでも過ごしやすいと思えるような環境を」という考えから、誰かのためになるような人になりたいということを書きました。</p>	<p>職業体験が単なる仕事の理解に留まらず、自分自身の価値観が変わり、将来について考えるきっかけになったことがよく伝わってきました。また、障害をお持ちの方との関わりを通じて、事前に感じていた不安が払拭され、今度はそこから相手を理解して、何かに取り組もうとされるその姿勢は、とても素晴らしく感じました。</p> <p>現在区も含め、様々なところで障害をもった方が過ごしやすい環境作りを進めているところです。例えば、バリアフリー対策として、音響式信号機や点字ブロック、また歩道の段差の解消などに取り組んでいます。まだまだ不便なところがあるのも現状です。</p> <p>だからこそ、若い方が「環境を良くしたい」と考えてくれていることは、嬉しいことですし、とても心強いです。ぜひ、これからも「誰かのためになるような人になりたい」という気持ちを忘れずに、頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回、人生の路線や自分らしさについて考えました。</p> <p>幼稚園時代から母と通っていた電車経路にあるバレエ教室に、小学4年生から1人で通うことになった上野から大塚は、私にとって冒険の一つであり、成長の一つだったと思います。敷いてもらったレールを活かしながら、たくさんの人に出会ったり経験したりして、私は自分の意思でこの先の道をしっかりと切り開いていきたいです。</p> <p>そして、選択をしてどんな結果になったとしても、それも自分だとポジティブに受け止めて、人生を楽しんでいきたいと思っています。</p>	<p>幼稚園の頃から長い間、バレエを続けてきたとのことで、始めるきっかけは親御さんがレールを敷いてくれた影響かもしれませんが、それを続けてこられたのは、ご自身が強い意思を持って取り組んできたからこそだと思います。そのため、自分の意思でこの先の道をしっかりと切り開いて行く力を、すでに持っていらっしゃると思います。</p> <p>たくさんの人の意見や考えも参考にしたり、様々な経験を活かしたりしながら、ご自身で舵を取って、この先の道を進んでいただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>今回、立志の宣言を書くにあたり、自分の好きな漢字を考えました。1番最初に思い浮かんだのが、自分の名前にもある“煌めく”でした。</p> <p>改めて“煌めく”の意味を考え、調べてみて、自分の将来が文字どおり“煌めく”ものになるよう、何事にも立ち向かい、プロ野球選手という夢を叶えたいと思います。</p>	<p>ご自身の名前の漢字が、文字どおり将来を照らしてくれているのだと感じました。</p> <p>また、「何事にも立ち向かう」とのことで、失敗を恐れることなく挑戦していく熱い気持ちが伝わってきました。たとえ失敗したとしても、その経験を活かして次にどのように取り組んでいくのかを考えて行動することで、自分の成長にもつながり、次は成功することで自信にもつながると思います。</p> <p>ぜひ煌めきを放ち、観ている人に希望を与えられるプロ野球選手になっていただき、周りに落ち込んでいる人がいたら、明るく助けてあげられる人になっていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>まず立志の宣言を書くために、「好きな漢字は何だろう」と考えたときに、自分の名前の漢字が思い浮かびました。</p> <p>「空」には、私のなりたいことに関係があるのかなと思いましたが、「空」には夢がたくさん詰まっていました。自分の名前に入っている漢字で志を立てることができると思い、とても嬉しかったです。</p> <p>今のままでは叶えることができないと、自分を見つめ直す機会にもなったり、「空」がいかにも壮大なものなのかを考えたりすることができて、立志の漢字を「空」にして本当に良かったと思いました。</p> <p>とても叶えたい夢なので、この志を忘れずに学校生活を送りたいです。</p>	<p>名前の漢字から志を立てたとのことで、ご自身のお名前を改めて好きになる機会になったのではないのでしょうか。また、「空」と聞くと無限に広がっているようなイメージが思い浮かび、きっとご自身の中では、「空」のように将来への夢や希望が広がっているのだと思います。</p> <p>その実現のためにも、まず「今」を大切にすることが重要だと思います。詩人・坂村真民の詩集の一節に、「念ずれば花ひらく」という言葉があります。「念」という漢字は、「今」の「心」と書きますが、今の心を大切にして前向きに生きていくことが、自分にふさわしい道を開くことにつながると思います。</p> <p>「空は壮大だ」という表現のとおり、将来は大きな可能性で満ちあふれていると思います。どうぞ、中学生という様々なことを経験できるこの一瞬一瞬を大切にさせていただき、これからも自分を信じて進んでいただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言をするまでは、将来についてあまりよく考えたことがありませんでした。ただ漠然と私の家がケーキ屋なので、跡継ぎでやっていけば良いと思っていました。</p> <p>しかし、思っているだけではダメだと気づきました。ケーキ屋になるために今できること、進路についてじっくり考えてみたら、何をすべきかわかり、取り組むことができるようになりました。</p>	<p>立志の宣言を考えるにあたって、「うちのケーキ屋さんを継ぐ」という思いが、明確に将来の夢へと変わったようですね。</p> <p>そのために、「ケーキを作るための技術や知識だけでなく、美術系の高校に行って、その見せ方なども学んでケーキ屋さんになりたい」とのことで、しっかり将来を見据えて考えられており、とても素晴らしく思いました。</p> <p>その進路に向かって、まずは残りの中学校生活を頑張っていただけだと思います。そして将来、跡継ぎとしてお店に立たれるときには、私もお客さんとしてケーキを買いにお伺いしたいと思いますので、これからの挑戦を応援しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>最初は、“志を立てる”のはなぜなのか、あまりわかりませんでした。しかし、作文を書いて「吉田松陰」の考えに触れることで、志を立てることは夢や近くの目標ではなく、何か成し遂げたいことや、大きな目標を実現するためにどうすべきかを考えることだとわかりました。</p> <p>僕はこの作文に取り組んで、混乱の時代に志を持って学び、後の世に影響を及ぼした吉田松陰のことを尊敬するようになりました。</p> <p>そして、吉田松陰のこの生き方は、同じような混乱の時期にある現代においても通じる、立派な姿勢なのではないかと思います。</p>	<p>今回の立志の作文を書くにあたり、「志を立てる」ことがどういうことなのか、理解されていった過程がよくわかりました。</p> <p>吉田松陰は、現在の山口県萩市にあった「松下村塾」で、幕末から明治期に活躍した人材を育成した歴史上の人物です。</p> <p>吉田松陰の「一時一時を大切にしていって行く」という考えに影響を受けたとのことで、時間を大切にすることは、明治維新へと時代が変わる幕末においても、そして現代においても変わらないことだと私も思います。そして、何かを成し遂げたり、大きな目標を実現したりするためにとても重要なことであると思います。</p> <p>これからもこうした姿勢を大切にしながら、様々なことに取り組んでいただき、ご自身の志を磨き続けていただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は立志の作文について、2時間考えました。考えた結果、将来の夢や目標などはないけれど、決意表明や自分の気持ちを決めることならできる気がしました。</p> <p>そのため、自分の経験について書き、それでも自分の考えなどは持ったほうが良いのだと、皆に伝えるために書きました。</p>	<p>将来の夢や目標はまだないとのことで、ぜひこれからゆっくりと探してください。皆さんにはこれから先、無限の可能性があるので、夢や目標は大きく持っていただければと思います。</p> <p>また、「自分の考えを持ったほうが良い」と発表してください、本当にそのとおりだと思います。今後、様々な場面で選択や決断をすることが多くあると思います。そのとき、何となく周りに合わせるのではなく、しっかり考え抜き、「自分はこう思う」「自分はこうしたい」と選択できれば、後悔することも少なくなると思います。</p> <p>自分の考えをしっかり持って、様々なことに前向きに挑戦して行ってほしいと思います。これからもぜひ頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は宣言を書くにあたり、「運」について書いてみることにしました。</p> <p>最初は、「運が一番重要だ」ということを書いていたのですが、考えを深めていくうちに、運を理由にして思考や行動を放棄するのはもったいないと思いました。しかし、ずっと努力を続けるモチベーションを保つことも大変だと思います。</p> <p>そのため、「夢を探す」という目標を持って「勉強」という努力をして、運にとらわれずに自分で道を切り開き、有意義に生きていきたいと思いました。</p>	<p>運だけに頼るのではなく、「自分で道を切り開く」という考えに至ったとのことで、とても素晴らしく思いました。特に印象的だったのは、「運を理由にして、思考や行動を放棄するのはもったいない」と気づいた点であると思います。何か良い結果を導くことや、自分が成長していくためには、自分自身で考えたり、行動したりすることが重要だと私も思います。</p> <p>また、「努力を続けるモチベーションを保つのが大変」とのことですが、まずは少しの努力から始めていき、それを積み重ねていくことで、モチベーションの維持にもつながり、夢の実現にもつながってくると思います。</p> <p>ぜひ、まずは夢を探すために勉強などの努力を続けていただき、そして夢が見つかった際には、今度はその夢に向かっての努力を続けていただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書くにあたり、過去の自分を振り返りました。最初は模然としていて上手く定まりませんでした。10年後にこの手紙を読むと想定したとき、将来励みになると良いなと思って書きました。</p> <p>私は今の自分の弱いところを克服したいと思ったので、その弱いところを書き出し、将来どうすればこの弱みを対処できるのかについても書きました。</p> <p>それにより、自然と自分に自信が持て、立志を立てる前と後で変わった自分がいました。立志を立てる大切さを知ることができました。</p>	<p>今回立志の宣言を書くにあたり、過去を振り返り、自分自身への理解を深めたとのことで、ご自身の成長のきっかけになったようですね。</p> <p>自分の弱さを知っている人は、それを克服するために考え、試行錯誤できるので、より自分自身を成長させることができる人だと思います。また、同じような弱さを持つ人に対しても、共感し、優しく接することができると思います。</p> <p>現在、生徒会長を務められているとのことで、生徒一人一人を優しくサポートし、そして自分自身も成長させていくことができる方なのではないかと思います。</p> <p>これからも失敗を恐れず、成長を楽しみながら前へ進んでいってください。そして10年度、今回の立志の宣言を読んだときに、ご自身の成長を実感できていることを願っています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書くとき、将来の理想を胸に書きました。</p> <p>私は勉強をしているとき、身近なこととの共通点を見つけ、知識と経験を結びつけることができると喜びを感じます。</p> <p>私には、知りたいことがたくさんあります。そのため、日常の小さなことにも知る楽しみ、学ぶ楽しみを見つけます。</p> <p>「知りたい」「学びたい」という思いを忘れず、思うままに生きていくのが私の理想です。</p>	<p>日常の中にある小さなことをはじめ、様々なことに興味を持ち、「知りたい」「学びたい」と思えることは、とても素晴らしいことだと思います。また、勉強の中で身近な事柄と共通点を見つけ、知識と経験を結びつけようとするその姿勢は、学びへの深い関心と探究心が育っている証拠だと思います。</p> <p>「知りたいことが多い」ということは、学習を長く続ける上で大きな原動力になります。</p> <p>将来は、「生き物」のことを研究されたいとのことで、まだまだ解明されていないことも多く、好奇心や探求心が大いに発揮される分野だと思います。これからも「知りたい」「学びたい」という思いを胸に、将来の夢に向かって頑張ってください。</p>